

もうすぐ国体！e-であい、iをこめて おもてなし！

8

2006 / No.123



小野市議会だより

Ono city assembly

「国体役員・選手のおもてなしは、まかせといて！」

「民泊推進大会」アルゴに集う、大勢の民泊協力会のみなさま



e-**国体**
カウント
ダウン
60

市民そろって！！

小野市議会も、市民のみなさま方とともに協働参画、国体を応援します。

第344回

6月定例会

主な内容

- ・一般質問(3～6ページ)
藤原 健・河島喜代美・山中修己・吉田成宏
川名善三・石田喜久男・春名良兼・河合俊彦
- ・議案質疑(7ページ)
竹内 修・鈴垣 元
- ・各常任委員会の審査・政務調査費(8ページ)
- ・アンケート結果(9～11ページ)
- ・主な可決議案(12ページ)

第344回6月市議会定例会は、6月2日から6月21日まで、20日間にわたり開催しました。

市から提出された議案は、専決処分の承認、一般会計補正予算、うるおい交流館の設管条例の改正、税条例の改正、市営住宅管理条例の改正、市営住宅家賃支払い訴求の提起など12議案を原案どおり可決しました。

第123号 平成18年8月1日

編集発行/小野市議会 小野市王子町806-1 TEL.0794-63-1006 FAX.0794-63-4108 <http://www.city.ono.hyogo.jp>

六月定例会

一般質問発言者

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

藤原 健 議員

- ・小野市農業を継続維持するために
- ・市営住宅の保証人制度の見直しについて

河島喜代美 議員

- ・食育の推進について
- ・男女共同参画社会の推進について

山中修己 議員

- ・幼稚園・保育所総合施設化について
- ・市民福祉部と社会福祉協議会について
- ・CS（顧客満足度）の更なる推進について

吉田成宏 議員

- ・残留農薬基準ポジティブリスト制への対応について
- ・総合窓口化の推進について

川名善三 議員

- ・学校の管理化における事故防止対策について
- ・乳幼児健康支援一時預かり事業（施設型）について
- ・広告の活用による財源の確保について

石田喜久男 議員

- ・市民アンケート等におけるサンプリングについて
- ・地域振興策、人口問題について
- ・高齢者等住宅改造費助成事業実施要綱について

春名良兼 議員

- ・アメニティくろかわについて
- ・ゴミを減らす取り組みについて
- ・景観整備について

河合俊彦 議員

- ・診療報酬の改定にともなう病院への影響について
- ・住宅政策について

質疑発言者

竹内 修 議員

- ・議案第75号小野市一般会計補正予算について
- 妊婦健康診査費助成
- 青少年芸術体験事業補助
- スクールアシスタント配置事業

鈴垣 元 議員

- ・議案第75号小野市一般会計補正予算について
- 白雲谷温泉運営管理基金積立
- ・議案第79号小野市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第81号小野市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

議会の活性化と開かれた議会をめざした取り組み

- 平成12年 ・本会議のもようを市役所ロビー、市民会館、みやま荘老人クラブのテレビに放映
- ・市議会会議録検索システムを導入、インターネットホームページで公開
- 平成13年 ・インターネットで本会議のもようを放映
- 平成14年 ・議員1人1台、パソコンを配備
- 平成15年 ・「小野市議会だより」をホームページに掲載
- ・常任委員会行政視察報告をホームページに掲載
- ・議員所有の携帯電話へ、スケジュール・議会関連情報の配信
- 平成16年 ・研修会プレゼンテーション用プロジェクターを設置
- ・会派会のホームページを掲載
- 平成17年 ・会議録検索システムと動画を同期配信
- ・次期改選から議員定数を18名に、2名減
- ・常任委員会協議会（研修会）を延べ18回開催
- 平成18年 ・託児コーナーを開設（県内初）

*これからもいっそう充実した活性化に取り組みます。

ご意見をお待ちしています。議会のメールアドレス：gikai@city.ono.hyogo.jp



新生クラブ
藤原 健 議員

小野市農業の

継続維持はどう図るのか

質問 品目横断的経営安定対策から外される集落営農組織はあるのか。

答弁 品目横断的経営安定対策は、米・麦・大豆の出荷に対する対策であるため、現在14組織ある営農組織の内、7組織が影響してくる。

集落営農組織は、20ヘクタール以上の経営耕地面積が要件となっており、クリアするのは2組織のみとなっている。影響のある残りの5組織は、特例基準（その集落の転作の過半を取り組んでいる組織は、小野市の場合7ヘクタールの経営耕地面積に引き下げられる）により、隣接組織との統合を行う予定の営農組織を含めると、面積要件はすべての組織でクリアが可能であると考えます。

各組織に対し個別のヒアリングを予定しており、対象となる組織に移行するように指導してまいります。

（地域振興部次長）

質問 集落営農の組織化の現状は。

答弁 王子営農組合が昨年12月に発足して、14組織が活動されている。そして現在、組織化実現の動きは万勝寺脇本地区、浄谷町、曾根町、菅田町、住吉町などがある。

万勝寺脇本地区では、ほ場整備事業にあわせて、面工事終了後3年以内に法人化を目指して鋭意努力をされている。

また、浄谷町では「夢プラン策定委員会」を本年5月に立ち上げ、農家・非農家が協力し合う新たな集落営農を地域の皆様と共に考えておられ、このほか、昭和町、久保木町からの声も上がっている。

（地域振興部次長）



新生クラブ
河島喜代美 議員

食育の推進について

質問 全国の児童生徒の約20%が1週間のうち朝食ぬきの日があるといいますが、小野市の現状と欠食対策をお伺いします。

答弁 朝食は、小野市教育顧問の河島隆太教授が指摘されているように脳の活性化や学力向上、体力向上にも影響があります。教育委員会では、「朝食を食べること」を重点目標に学校栄養士が指導し、親子給食会で啓発を行っています。小学生の欠食率は、1・6%、中学生は、4%です。

本年度は、教育委員会が全保護者に配布している「夢と希望の教育」のリーフレットに「食育の推進」を大きく取り上げており、さらに「欠食率」を減少させるように努めています。

（教育長）

男女共同参画社会の
推進について

質問 「小野市はーと・シップ（男女共同参画）社会推進条例」施行後約3年半が経過していますが、意識啓発をどのようにされていますか。

答弁 小野市の積極的な男女共同参画施策は、県下におきましても周知のとおりですが、その意識改革には根強い抵抗もあり、なかなか溝が埋まらないという問題を抱えています。この改善のために、男性参画セミナー、独身男女の「出逢いの場」開催などによる、自然な形で「気付き」を導くことを考えています。

（総合政策部長）

男女共同参画社会実現のために、各自治会において女性の副区長登用にご理解を頂けるとすれば、そのために必要な経費を市で補助するの一案ではないかと考えております。

（市長）



市民クラブ

山中修己議員

幼稚園・保育所の

総合施設化について

質問 小野市では就学前の教育・保育を一体として捉えた総合施設化を検討していると聞いていますが、その具体的内容について伺います。

答弁 国は、ゼロ歳から就学前までの子どもを対象とした、教育と保育を一体化する総合施設化構想を進めています。また、就学前の1〜2年を義務教育に含める方向も模索しています。

本市の幼稚園と保育所の教育は現状のままでも、目標は達成されていると考えており、総合施設化の検討は義務教育化の方向が確実に変わった時点で、行う予定です。

(教育長)

市民福祉部と社会福祉

協議会(社協)について

質問 現在、福祉サービスへの要望・需要は年々増加しています。福祉の充実に向けた両者の機能の再構築を考えるべきではないですか。

答弁 再構築については、事業の再整理と住民参加を基本に社協の現活動を「地域づくり協議会」や地域の「社会づくりや健康づくり」などへ裾野を広げ、展開させようと考えており引き続き市民福祉の向上・増進に向けた更なる検討を加えていきます。

(市民福祉部長)

CS(顧客満足度)の

更なる推進について

質問 河合運動広場のテニスコートは荒廃しており、改修すべきではないか。

答弁 平成19年度改修の方向で検討します。

(市長)



新生クラブ

吉田成宏議員

残留農薬基準

ポジティブリスト制への

対応について

質問 改正食品衛生法の3年の猶予期間中に、制度の周知徹底やドリフト対策について、どのような対応をされたのか。

答弁 J Aが中心となり、農会長会等の協力のもと普及啓発に取り組みました。広報紙や講習会等での説明だけでなく「サンパティオおの」会員農家からの無登録農薬不使用誓約書、作業日誌等の記載推進、抜き打ち検査の実施などを行ってきました。なお、基準値以上の農薬が検出されると氏名等が公表されることになっていますが、風評被害を最小限に留めるよう、情報交換に努め、対応いたします。

(地域振興部次長)

総合窓口化の推進について

質問 様々な届出、証明書の交付等をひとつの窓口で統合して受け付けるワンストップサービスが注目されている。そのためフロアスペースの確保や、窓口カウンターでの人材の問題、庁内行政情報ネットワークの再構築も課題となるが、今後窓口事務の見直しをどう進めるのか伺いたい。

答弁 小野市では、オンライン処理を市民課窓口業務からスタートさせ18年が経過し、その間に各種システムの開発を進めてきました。

また、次期住民情報システムの導入については、セキュリティの向上オペレーションの効率化等新たな対応が迫られており、検討委員会を立ち上げ移行作業を進めております。

総合窓口化によるワンストップサービスの提供については、庁舎スペースの関係もあり、より効率的な窓口のあり方を検討いたします。(助役)



公明党

川名善三 議員

学校の管理下における
事故防止対策について

質問 学校教育においても取り組むべき児童生徒の事故防止・安全教育について、現在の取り組みと、安全教育の具体策としてKYT(危険予知トレーニング)の導入について伺います。

答弁 KYT導入について学校現場では、「何が危険であるか」「どこに隙があるか」を判断させ、問題解決の能力を育てるための有効な手法であります。近年、児童生徒を取り巻く環境が激変し、交通事故・転落・自然災害・傷害・誘拐・暴力など、さまざまな事故や事犯が多発しており、児童生徒が、自ら危険回避のための行動を考え、「自分の命は自分で守る力」を養うため、この手法を積極的に研究し活用できるよう、校長会、保健担当者会で指導していきます。(教育長)

乳幼児健康支援一時預かり
事業(病後児保育)について

答弁 この事業は、児童が病気の回復期にあり、集団保育・家庭保育が困難で、一時預かりをすることにより、子育て支援・就労支援・児童の健全育成を行う事業です。病後児保育を実施するには、医療機関や保育所の一室で、専用の保育スペースを確保し、看護師等を配置するもので、利用申込については、医師の連絡票が必要なこと、また、保育料とは別の利用料も必要となります。この事業を実施するには、「適切な実施機関の確保」が何よりも必要であり、また、症状が安定しない乳幼児の緊急対応や、他の児童への感染の防止対策を図る等、多くの課題を整理する必要があります。市では、これら課題点と、地域ニーズに適した病後児保育のあり方について、現在、検討を進めているところです。(市民福祉部長)



新生クラブ

石田喜久男 議員

市街化調整区域内における
地域振興対策について

質問 平成17年の国勢調査人口は、10年前に比べ、近隣5市のうち、小野市のみが微増で、人口の減らない市として、それなりの評価はできる。これを地区別に10年間を比較すると、下東条地区13・3%増、小野地区4・9%増、大部地区3・1%増、市場地区1・2%増、河合地区5・6%減、来住地区は5・8%減で地域ごとに差がある。また、増加した市場地区においても、町別では、2町が約30%の増となっているが、1町が8%減、また、4町がいずれも10%以上の減となっている。

市内77町においても、人口が減少している町が53町、約7割。この中の34町は7%以上の減少がみられ、地域差がある。特に、農業が不振な現在、市街化調整区域の人口減が大きい。
県の建築許可要件の一部を緩和す

「特別指定区域」指定は、市街化調整区域における人口減少対策として、効果の期待できる施策であると考えている。その状況はどのようになっているか。

答弁 昨年十一月に指定告示を受けた「地縁者の住宅区域」の指定効果は大きい。ひき続いて、市街化調整区域内における商業施設や工場など、事業所系の指定告示を受けるよう取り組んでいます。(技監)

高齢者等住宅改造費助成事業について

質問 現在、施工証書として、工事費全額の領収書を要求しているが、助成金を含めた金を融通し、支払わなければならない。一時的に最高で100万円もの工面が難しい場合があるので、工事契約書と個人負担分だけの支払い領収書でもって施工証書とすることはできないか。

答弁 その方向で検討いたします。(市民福祉部長)



日本共産党
春名良兼 議員

「アメニティくろかわ」について

質問 すでに居住されている方へは、「割引」趣旨説明をどうされたか。

答弁 経済の低迷で平成14年を最後に売れなくなり、地価下落を考えた割引制度を導入し販売促進を図りました。

既在住の方には、本年4月18、19日に戸別訪問をし、地下水浄化の現状と割引制度による販売促進計画を説明しました。不在宅には、訪問の内容を文章にしたものを投函しました。
(総合政策部長)

質問 不在宅には後日説明されたのか。

答弁 二日間で56戸訪問、留守宅21戸には、お知らせ文を投函し、10戸からお問い合わせがあり、電話でお答えするほか、再度訪問して説明しました。
(総合政策部長)

質問 土地浄化経費は、転移した企業に負担を求めないのか。

答弁 現時点では、法的責任を問うことはできませんが、道義的責任がある、として元所有者に負担を求めよう担当の土地開発公社に指導をしています。
(総合政策部長)

ごみ減量への啓発活動はどのようになっているのか

答弁 「広報おの」で毎月「ハートフルクリーン作戦」と題して啓発、また、小・中学生には環境問題の学習で子供の頃からゴミ問題に関心を持つよう啓発しています。
(市民安全部次長)

西環状線歩道の整備について

答弁 県道区間の安全面と環境面が損なわれておりましたので、適切な管理を行うよう県に申し入れていきます。
(地域振興部次長)



民主クラブ
河合俊彦 議員

診療報酬改定について

質問 本年4月に医療費の膨張を抑制するため、診療報酬の改定が行われ、外来や入院の費用などが、おおむね引き下げられたが、医師不足が深刻な小児・産婦人科、救急医療や在宅医療が引き上げられたこと。また、比較的安価なジェネリック薬品を患者が選べるようになったことなど、診療報酬改定による、市民病院への影響と対応について、お伺いします。

答弁 当院への影響ですが、本年4月分の診療報酬で試算いたしますと1・36%の引き下げで、年間約4千万円の減収見込みとなります。ジェネリック医薬品の処方については、すでに院内・院外処方あわせて全体の5%のジェネリック医薬品

を使用しています。診療報酬の改定によるジェネリック医薬品の処方につきましては、当院として現時点で約一〇〇種類の推奨品が使用可能と判断し、その旨を薬剤師会へ周知しております。

今回の診療報酬改正の中で、質の高い医療を効率的に提供するために、医療機能の分化・連携を促進、在宅医療・看取りを支える24時間の窓口機能を備えた診療所が在宅療養支援診療所として診療報酬上の制度が設けられました。

すでに、市内3箇所の在宅療養支援診療所から連携要請があり承諾しております。

これにより、在宅療養支援診療所にかかっている患者が重篤な事態に陥った場合は、その診療所からの紹介により当院で受け入れる連携体制を整えております。
(市民病院事務部長)



議案質疑

公明党

竹内 修 議員

平成18年度一般会計補正予算

質疑 母子保健事業の内容について

答弁 県の少子化対策「未来の親作りの支援」事業です。妊娠中に医療機関で受診された後期妊婦検診費用に対して1万5千円を上限として助成するものです。

小野市では、県の所得制限を撤廃して、すべての方に助成することにしました。この費用の支払いは、本人の負担にならないよう、直接医療機関から小野市に請求していただく「受領委任払い制度」や県外へ里帰り出産には「償還払い制度」をすすめています。(市民福祉部長)

質疑 教育推進費について

答弁 青少年芸術体験事業補助金で、

県下のすべての中学1年生が本格的な芸術文化に触れてもらおうとする事業です。専門家による演奏の説明や、オーケストラの基本について学び、演奏体験をすることができ、この事業を実施するためにバス代として予算を組みました。(教育次長)

質疑 スクールアシスタント配置事業について

答弁 この事業は、注意欠陥多動性障害、学習障害、暴力行為などの問題行動や不登校に対応するためにスクールアシスタントを市内小学校に1名配置するための費用です。児童一人ひとりの実態に応じた指導、支援をきめ細かく実施しようとした取り組みです。(教育次長)

平成18年度一般会計補正予算

質疑 積立金4310万円は、白雲谷温泉17年度決算剰余金を基金にまわそうとするものだが、経営内容及び収支は。

答弁 利用者数38万7千人。利用料総額約2億1200万円。市からの委託料は約1億6900万円、その差益4310万円を基金として計上しました。また、ゆびかの運営経費は、市委託料と自主事業収入を加えて総額2億835万円となっています。(地域振興部長)

質疑 これだけ収益があるなら要望の多い高齢者・障害者の入湯料減額をすべきだ。これらの方は、介護保険料・医療費の増大や障害者自立支援法施行等により負担が増えている。せめて低所得者への対応を考えてはどうか。

答弁 入湯料600円は負担願える許容範囲と思っていますが、弱者に對しては別途検討させていただきます。弱者の方々からも「我々も負担すべきところは負担したい」という自立したご意見もあります。

議案質疑

日本共産党

鈴木 元 議員

なお、福祉風呂で介助が必要な方はすでに半額にしています。(市長)

市税条例の一部改正について

質疑 改正は、所得税から住民税へ約3兆円の税源移譲に伴い行なわれるもので、所得税と住民税の合計額では税負担を増加させない原則のもと調整が行なわれる。しかし、住民税が増えることで影響してくるものがあると思うが調整措置はできているか。

答弁 国民健康保険税は、所得額をベースにしているので影響はありません。

介護保険サービス利用料は、国の激変緩和措置が決定されています。保育料は、市独自の軽減があり安い基準を設定していますが、定率減税廃止もあるので国の動向を見ながら対応します。また、現時点では、障害者自立支援医療への影響は少ないと考えています。(市民福祉部長)

常任委員会審査報告

6月定例会は、19日、総務文教、民生保健、地域振興の各常任委員会を開催し、議案第74号から第85号まで、合計12議案について、市当局から詳しく説明を受け、そのあと慎重に審査をいたしました。

議案12件すべてについて反対討論はなく、「本会議においては全会一致で、可決することが望ましい」とした審査結果をまとめました。

総務文教常任委員会（松本英昭委員長）に付託された7件の議案と、民生保健常任委員会（竹内 修委員長）に付託された3件の議案については、特に指摘した事項はありませんでした。

地域振興常任委員会（春名良兼委員長）に付託された4件の議案のうち、議案第84号、第85号訴えの提起（市営住宅の家賃の滞納者に対して、住宅を明け渡すこと・滞納家賃と損害賠償の支払いを求める訴え）について、委員から「市営住宅の家賃滞納者に対して、明け渡しを求める訴えの提起の議案2件が提出されてい

るが、2つの事例以外にも家賃の滞納があることから、家賃の滞納者に対して、市営住宅管理条例を基にした滞納者対策マニュアルを作成しておく必要がある。また、連帯保証人

政務調査費の使い方

議員の調査研究に必要な経費として、全国の各市議会では、政務調査費を予算化しています。小野市議会では、議員1人、年額12万円を会派ごとに交付しています。（近隣市議会の年額は左表を参照）
政務調査費は、どんなことに使わ

についても、責任ある保証人として毎年、その所在、支払い能力などの確認をおこなう、連帯保証人確認マニュアルをつくるとともに、市民には公平にして公正な事務措置を、毅然として遂行するところを示された」との意見が述べられました。



れるのかを条例、規則により「使途基準」が決められています。

○使途基準

- ・研究会、研修会の開催経費
- ・研究会、研修会への参加経費
- ・先進地調査、現地調査経費

東播・淡路各市の政務調査費予算状況

（平成18年度）

明石市	1,080,000円	
加古川市	840,000円	
高砂市	300,000円	
洲本市	150,000円	
南あわじ市	150,000円	
三木市	120,000円	
小野市	120,000円	
加西市	100,000円	
西脇市	44,500円	中
加東市		検
淡路市		討

・調査研究活動の資料作成経費
・図書、資料の購入経費
・会派の広報紙、報告書の印刷経費
・会派の報告会会場使用料、印刷経費
政務調査費の収入、支出につきましては、会計簿をつけ、領収書などの証拠書類を整理して議長に報告書を提出、書類の保管、公開文書の対象として整理しておくことになって
います。
今年度の「政務調査費」の中間報告です。

- ・新生クラブ先進地行政視察研修
- ◎ J F E スチール東日本製鉄所千葉地区見学（千葉市）
- ◎ 総合窓口ワンストップシステムについて（茨城県牛久市）
- ◎ 行政情報ネットワークについて（埼玉県草加市）
- ・民主クラブ・市民クラブ・公明党合同先進地行政視察研修
- ◎ 行政評価システムについて（宮城県岩沼市）
- ・日本共産党先進地行政視察研修
- ◎ 憲法と21世紀日本の針路（自治体学校 名古屋）

アンケート結果を議会運営に反映



6月定例議会にお越しいただいた方全員にアンケートをお願いしました。6月定例議会は、89名の方が傍聴にられました。そのうちアンケートの回答者数が63名、回答率は、70%でした。

アンケートでは、次の5問について質問させていただきました。

①傍聴されたのは、何回目ですか？

②質問、答弁の内容は理解できましたか？

1「理解できた」、2「理解しにくい」、3「その他」という3つの項目があり、3の「その他」を選ばれた方のなかに、次のご意見がありました。

9月定例会も 託児コーナーを開設



よついで小野市議会へ
議会開催中、お子さまをお預かりします

9月定例議会で「託児コーナー」を開設するのは、議員から市長へ質疑と一般質問がおこなわれる9月21日(木)、22日(金)のそれぞれ10時から正午までの2時間以内といたします。

対象となるのは、1歳から就学前までのお子さまをお持ちの保護者の方です。ご希望の方は、9月14日までに、議会事務局(電話番号63-1006)へお電話でお申し込みください。

今回も、託児のお世話をしていただくのは、託児ボランティアグループ・小野託児サークル「このゆびと～まれ♪」のメンバーのみなさまです。(当日は、託児の受付はできません。)

・抽象的過ぎた。

・もう少し細やかな答弁を聞きたい。

・行政の答弁が機械的である。

・もっと要領を掴んで、時間短縮してほしい。

・質問を簡単、明確にしてほしい。

③今回、傍聴を何で知りましたか？

④市議会のホームページを見たことがありますか？

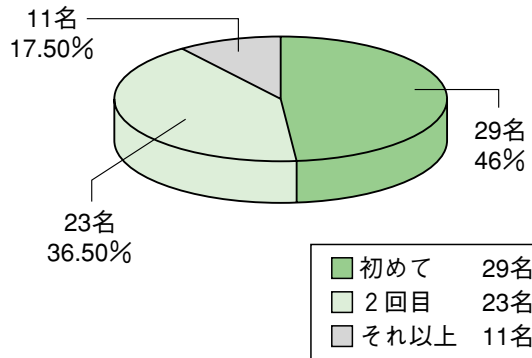
⑤夜間や休日に議会を開いた場合、あなたは来られますか？

その他、議会について、「感想」を書いていただきました。

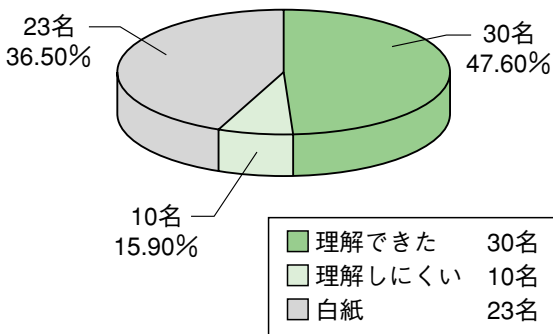
回答と感想は次のページをご覧ください。

肌を感じる臨場感！

① 傍聴されたのは何回目ですか。



② 質問、答弁、内容は理解できましたか。

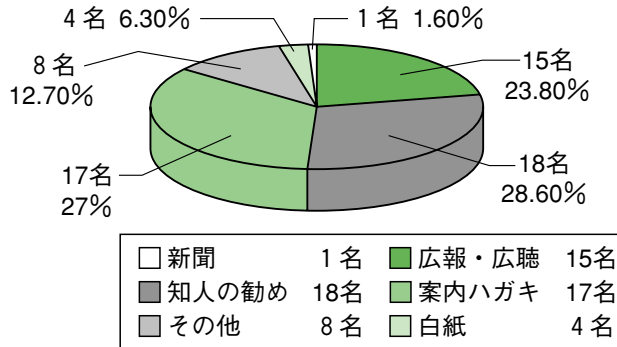


6月定例会本会議を傍聴された方々の感想です

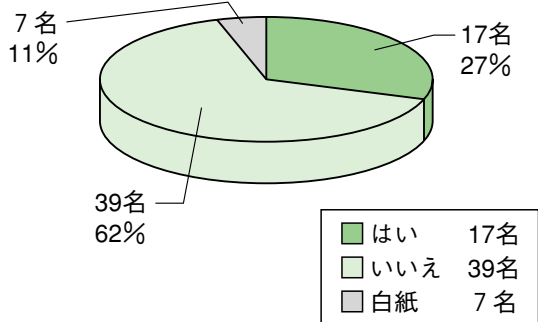
- 肉声が小さくて聞き取りにくかった。もう少し大きな声で話してほしい。(5名)
- もっと真剣な意見がほしい。
- 資料が手元にならないため、分かりにくかった。
- 主婦にとって関心のある質問でした。子どもの育て方はやはり、健全な食生活からだと思います。改めて、高齢化に向かう私たちにも考えさせられる事項でした。
- 初めて傍聴し、良い質問、そして明確な答弁に感心いたしました。
- 傍聴者が多いため、多少緊張感が感じられた。一般質問より再質問のほうが、内容に具体性があり良かったと思う。
- 言葉が難しいので、分からないところがあった。(2名)
- 実際に目で見て、言葉で聞くと答弁が良く分かります。
- 食育推進について：現在、保育園長児を持つ私としましては、食事には十分配慮し、家庭内においても子どもの成長を考えたバランスの良い食事を…と考えておりますが、小野市は、食育推進に力をいれておられることを知り、安心して我が子を来春、小学校に送れると感じました。
- 男女共同参画について：仕事を持つ女性としては、大変興味がありますが、一般市民の私から見えて、まだまだ政策が表面に出てきていないと感じます。この小野市が、周辺市に比し女性が住み良い町になれば…と期待します。
- 女性傍聴者多数に驚いた。隣の議会を勉強し、我が市でも見習うことが多く見つかりました。傍聴席と議員席が近く、身近に感じられた。
- まず、議場へ一礼して入室されることに感心しました。そして、質問者は質問を簡潔に、答弁者はポイントを押さえ、詳しく話されています。2回目の議員質問の前には

本議会は、白熱討議

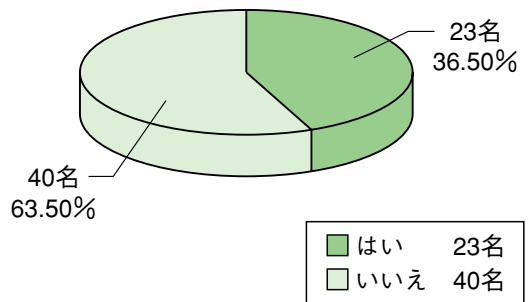
③ 今回、傍聴を何で知りましたか。



⑤ 夜間や休日に議会を開いた場合、あなたは来られますか。



④ 市議会のホームページを見たことがありますか。



「丁寧に答弁していただきありがとうございます」と敬礼（感謝）されていることが、和合を感じ、暖かい気持ちになりました。

● 市長の答弁は聞き取りやすく良かった。（7名）

● 今回、託児をしていただけたということ、初めて傍聴しましたが、敷居の高い場所と思っていたが、時折笑いも起きる明るい議場であり、内容も理解しやすいということが分かりました。

● もっとも感心のあった議案（幼・保総合施設化）が、傍聴できなかったのは残念でしたが、また議案によっては利用させてもらいたいと思います。託児ボランティアの方々、ありがとうございました。

● 子育て中の主婦です。今回、2回目とても興味深く議会の傍聴をさせていただきました。実際に議会を見てみなければ分からない独特の空気、議員さん、市長さんの様子、質疑の流れなど、どれを見てもおもしろくて、約2時間をあきることなく過ごさせていただきました。今回は初めて託児をしていただけたということ、友達にさそわれての出席でしたが、話を聞いて良かったです。

● いろいろな活動におしりが重なりがちですが、もっとネットワークを軽く、市のことに目を向けて、ボランティアなどに関わりたいと感じました。福祉、教育、男女共同参画、もっと知りたいです。また、議会の傍聴をさせていただきます。本日は、ありがとうございました。

（ご協力ありがとうございました。次回の9月定例会も、ぜひ、お越しく下さい。これからも、議員一同、市民のみなさまのご意見が広く市政に反映するよう議員活動に励みます。）

●今期市議会で可決された主な議案●

市長提出議案

- ・専決処分承認（平成18年度小野市老人保健特別会計補正予算）
- ・平成18年度小野市一般会計補正予算
 - 妊婦健康診査費助成費 795.9万円
 - 白雲谷温泉運営管理基金積立金 4,310万円
 - ガーデニングまちづくり事業費 90万円
 - 青少年芸術体験事業補助金 82.5万円
 - スクールアシスタント配置事業費 961.6万円
- ・小野市うるおい交流館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・訴えの提起について（2議案）
 - 市営住宅の家賃滞納及び損害賠償の支払いを求める訴え

意見書

- ・地方分権の推進に関する意見書（可決）

9月定例会の日程が決まりました。

日 程	日 程	日 程	日 程
9月8日(金)	9月21日(木)	9月28日(木)	9月22日(金)
本会議第1日	本会議第2日	本会議第4日	本会議第3日

本会議の第2日、第3日は、議員の質疑、一般質問があります。

議員からは、提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して、市長、部長が答弁いたします。

■9月定例会も託児コーナーを開設します。詳しくは、9ページをご覧ください。

小野市議会は、地球温暖化防止対策、「クールビズ」を率先しています。あしたの地球のために！

第7回「小学っ子議会」開催
市長と小6
夏休み討論バトル

- 日時 平成18年8月3日(木)
午後1時30分から
- 場所 小野市議会 議場
(市役所5階)

夏休み恒例となりました「小学っ子議会」を今年も開催します。市内の小学校8校から、議長役1名、質問者の議員役20名、記録・放映録画のスタッフ8名、合計29名の小学6年生児童と市長・議長をはじめ市の幹部が出席して模擬議会を開きます。

質問者の児童からは、「通学路の安全と歩道の設置について」「総合体育館(アルゴ)室内プールの利用料金について」「小野市での映画館建設計画について」「車やバイクの騒音について」「加古川河川敷の利用について」「ゴミ問題について」「公園及び歩行者・自転車専用道路の計画について」「ユニバーサル社会の視点に立った人にやさしく、環境にやさしい学校施設の充実について」「東条川の環境整備について」「小動物による農作物などの被害について」の10項目について、市長側に質問します。

今回は、1項目の質問に、2名の児童が共同して質問する方法をとっています。熱心な討論が予想されます。ぜひ、小学っ子議会傍聴におこしくださいますようご案内いたします。